

# 市政を問う

## 一般質問



「小さな世界都市」を目指すためにも英語はとっても大事！



田中藤一郎 議員  
(かがやき)

### 教育と教育機関は とても大切！

#### 教育と教育機関

問 「小さな世界都市」

を目指す中で、小学校英語教育は大きなチャンスであると考えるが、英語教育の考え方は

答 A L Tを活用し、英語を楽しくむ活動を取り入れながら、低学年の英語遊び、中学年の英語活動、

そして高学年の外国語活動と、系統性と連続性のある学習を進める。

問 学校以外での小学校の海外交流などの機会・チャンスがある場合、支援すべきと思うが

答 各学校が独自に海外の学校と姉妹校提携することや、あるいは個人的なつながりによる学校間交流について

の

問 生徒数の減少によって高校が活力を失うということは、単に個人の問題にとどまらず市全体にとっても大きな課題になる。それぞれの高校における活性化策について積極的に関与したい。

#### 地域創生・観光産業支援

問 産業成長戦略の大きな柱であるインバウンドに対する戦略の一つ、市内回遊をどう行うのか

答 豊岡観光イノベーションが中心となり、各種体験メニューの掘り起しや着地型ツアーにも注力しながら市内回遊を高めていきたい。欧米豪以外に具体的なアジアへの営業活動やセミナーを通じてインバウンドへ参画する新規業者を増やし、滞在時間の延長や消費額増加につなげていきたい。

問 県立高校でのクラス削減で高校存続の危機が危惧されているが、市として地元高校のあり方をどう考えている

答 県立高校でのクラス削減で高校存続の危機が危惧されているが、市として地元高校のあり方をどう考えている

#### 障害者支援

問 次期基本構想で目指す「小さな世界都市」は

障害者にとつてどのような社会なのか

答 障害の有無や年齢に関係なく、みんなにとって誇りを取り戻す戦略である。多様性を受け入れることは世界の中で輝くための必須条件であり、何を盛り込むかはこれからの作業となる。社会そのものが多様性を持つほうが、変化の激しい社会で適応できる。積極的に障害がある方々にも役割を果たしていただけるま



井垣 文博 議員  
(とよおか市民クラブ)

### 障がい者にとつて 「小さな世界都市」とは？

対し、発達障害者への関わり方や障害の特性への理解を進めていく。

問 障害者の働き方改革が必要と思うが、今回の働き方改革プロジェクトのアンケートは障害者の働き方も含まれているか

答 アンケート内容の中には、障害者の働き方に限定した項目はない。

#### 竹野浜海岸

問 竹野浜海岸は北近畿屈指の海水浴場であり、山陰海岸ジオパークの重要拠点でもある。事故防止、自然環境を守るため、バーベキュー禁止条例が必要ではないか

答 県、観光協会、地元自治会等と意見交換を行って



美しい海岸を守るため、バーベキュー禁止条例が必要！

# 市政を問う



上田 倫久 議員  
(かがやき)

## 全国瞬時警報システム (Jアラート)

問 課題と今後の取組み

答 8月29日の北朝鮮弾道ミサイル発射の事例については、北海道から東北、関東にかけて12道県を対象にJアラートによる緊急情報が発信されたが、防災行政無線が作動しない等の不具合が報道された。不具合の原因は、機器の誤作動や設定ミスによるとの報告があった。本市では、先日メーカーによる臨時点検を行って確認した。



全国瞬時警報システム (Jアラート)

今後の取組みとしては、9月17日、兵庫県下で弾道ミサイルを想定した情報伝達訓練が実施される。午前10時より防災行政無線による訓練を行う。

## 命を守る安全で安心な

## 地域づくり

### 地域包括ケアシステム

問 進捗状況、今後の取組み

答 老人福祉計画と第7期の介護保険事業計画の策定の中では、地域包括ケアシステムのモデル地区とし、介護保険事業計画の策定委員会の中で作業部会という形で位置づけている。作業部会には、日高医療センター、地元医師、地元介護事業者、社会福祉協議会、地元区長等、

### 専門職大学の芸術分野

問 城崎国際アートセンターの役割は

答 専門職大学と城崎国際アートセンターとの連携は当然考えている。

城崎国際アートセンターの芸術監督である平田オリザ氏は、県の検討会の座長も務められている。

### 防災・減災対策

問 市の土砂災害警戒区域指定箇所の状況は

答 29年8月末現在、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)は、土石流741か所、急傾斜1002か所、地すべり28か所。

29年度は、特別警戒区域(レッドゾーン)約400か所の手続きを行う。

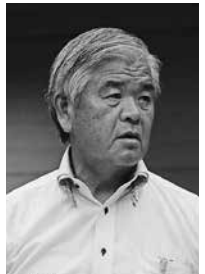
また、31年度までに全箇所の基礎調査終了を目指す。

急傾斜地崩壊対策事業は、393か所のうち、164か所が整備終了。

29年度は、市内16か所の測量や設計、工事を予定。

急傾斜地崩壊対策事業の着手年度は

急傾斜の崩壊に対する法律が昭和44年8月に施行。市の事業開始年度は不明。柵、ネットはメンテナンス計画に基づき順



井上 正治 議員  
(とよおか市民クラブ)

## 防災・減災対策と

## 地域コミュニティ



防災訓練でのワークショップ

等に実務者研修を実施した。リーダー育成は、難しいところがある。ある意味本人で育っていくほかない。例えば、先進地研修や各コミュニティの情報相互交換の場に参加しつつリーダーのやる気とヒントを得る当事

### 地域コミュニティの活動

問 必要不可欠な人材育成の取組みと支援策についての認識は

答 29年度、中核を担う女性と若者に人材育成研修を、コミュニティ職員

者意識を持つ工夫が大切。行政側も息長く見守り、組織強化に必要な支援を継続的に続けていきたい。

問 経済活動の取組みに対する見解は

答 さまざまな活動には収益事業への取組みも必要。一方で、専門的な知識や資金確保、地区内の合意形成など多くの課題がある。